

体育施設等指定管理者ミズノグループの評価 【評価委員総括表】

目的：地域住民の心身の健全な発達及び体育・レクリエーションの普及振興を図る

評価日：令和6年6月24日

評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

評価項目		評価視点	評点
1	施設の活性化	・利用者に対して、有益で魅力的な施設等の提供（岐南町総合体育館・岐南町町民運動場・岐南町スポーツセンター・岐南町防災コミュニティーセンター） ①施設の利便性を向上させる取組みが、適切にされているか ②利用促進を図る広報・ホームページ・チラシ等、幅広いPRがされているか	3.4点
		・創意工夫に満ちた新規自主事業の実施がされているか ・利用者のニーズにあった幅広い自主事業が、実施されているか	3.6点
2	サービス向上	・窓口・電話等での接遇・案内等は、適正に行われているか ・利用者からの意見を、可能な範囲で施設の管理運営に反映させているか ・利用者に適切なサービス提供をしうる職員の配置・勤務体制となっているか ・個人情報保護について、法令遵守されているか	2.8点
3	施設設備の点検・維持管理	・施設設備を安全に運用するための点検・維持管理は、適正に行われているか	3.0点
4	管理経費の効率化	・施設管理に係る経費の効率化が図られているか	3.0点
合 計 点			15.8点
総括評価（優：20.0点～17.1点 良：17.0点～12.1点 可：12.0点～7.1点 不可：7.0点～5.0点）			良

評価委員会の意見

○シニア層のニーズに応えたグラウンドゴルフ大会・ノルディックウォーキング等の新しいイベントを開催したことは、町民の健康増進の観点からも評価できる。

○町内の各種団体との連携を図り、創意工夫に満ちた自主事業を積極的に展開しているところは評価できる。引き続き、町民のニーズの変化を的確に把握し、時代に合ったイベントを展開していただきたい。

○チラシ配布及びSNSの活用による子どもから大人まで幅広い層への情報提供により、利用者数の増加及び稼働率の改善に取り組んできたことは評価できる。デジタルツールに不慣れな高齢者への周知方法を引き続き工夫していただきたい。

○施設を安定的に運営していくうえで、職員配置体制の合理化も必要ではあるが、サービス水準の低下に繋がらないように体制の見直しを絶えず行っていただきたい。

○令和4年度に比べ令和5年度の収支赤字は若干改善されたものの、近年は赤字が定着してしまっている。指定管理者としての立場から、利用料金の改定や減免制度の見直しによる指定管理料算出根拠の再検討を行うことで、収支状況改善を図る必要があるのではないか。こうした指定管理者制度の根本ともいえる問題を提起し、町と協議して指定管理者制度の望ましいあり方を今後も模索していただきたい。